

## アカバネウイルス genogroup I 単味不活化ワクチンの 有用性に関する検討

加藤敏英<sup>1)</sup> 上野 泰<sup>2)†</sup> 田村 豊<sup>1)</sup> 吉村昌也<sup>2)</sup>  
 浜崎日菜子<sup>1)</sup> 堀口華奈<sup>1)</sup> 末永清剛<sup>2)</sup>

1) 酪農学園大学獣医学群 (〒 069-8501 江別市文京台緑町 582)

2) 明治アニマルヘルス(株) (〒 860-0083 熊本市北区大窪 1-6-1)

(2023 年 4 月 6 日受付・2023 年 9 月 21 日受理・2023 年 12 月 7 日公開)



本文はこちら  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/12/76\\_e323\\_/article-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/12/76_e323_/article-char/ja)

### 要 約

アカバネ病予防には、アカバネウイルス genogroup I (G I) 及び genogroup II (G II) の両者に対する免疫が重要である。G I は G II に対しても中和抗体を誘導するが、G I の単味ワクチンは未だ販売されていない。そこで、G I の KN-06 株を抗原とする単味不活化ワクチン (KD-412) の牛での抗体応答について、KN-06 株を含む混合不活化ワクチン (K3) と G II の TS-C2 株を抗原とする単味生ワクチン (L) を対照として評価した。KD-412 の 2 回接種により、G I 及び G II に対する中和抗体価は K3 接種牛と同等に上昇し、1 年間 2 倍以上を維持した。L 接種牛では、KD-412 追加接種によって G I に対する抗体価が全頭で上昇した。KD-412 は G I 及び G II に対して同程度に免疫誘導が可能で、アカバネ病の予防に有効と考えられた。——キーワード：アカバネウイルス, genogroup I, ワクチン。

----- 日獣会誌 76, e323 ~ e328 (2023)